

## 5 持続可能な社会の構築に向けた地域づくり・人づくり

### 5 - 1 多様な環境教育・環境学習の推進

#### 1 環境教育の推進体制(森林環境総務課)

##### (1)やまなし環境教育等推進行動計画

環境教育の果たす役割がますます重要になっていることから、平成21年3月に策定した「やまなし環境教育等実践指針」を見直し、新たに「やまなし環境教育等推進行動計画」を平成25年3月に策定しました。

計画では、県民や学校、民間団体、事業者が様々な環境保全活動を活発に展開できるよう、各主体の役割に応じ、様々な場における環境教育に関する具体的な取り組みを体系的に分かりやすく整理することにより、効果的な環境教育の実践に資するよう配慮しました。

##### (2)環境教育の推進体制

本県では、各部局にわたり様々な環境教育事業を展開しています。その体制と主な実施内容は右のとおりです。

県の環境教育推進体制と主な実施内容

| 森林環境部                 |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 森林環境総務課               | 「山の日」啓発活動推進等                  |
|                       | 環境日本一やまなしづくり実践活動の推進           |
|                       | やまなしクリーンキャンペーンの展開             |
|                       | やまなしエコライフ県民運動等各種普及啓発          |
| ごみの減量化、リサイクル等の推進      |                               |
| 大気水質保全課               | 大気・水質保全等公害防止に係る普及啓発           |
| みどり自然課                | 自然保護や緑化推進等に係る普及啓発             |
|                       | 「八ヶ岳環境と文化のむら」の運営              |
| 森林整備課                 | 森林整備、森林・山村地域の活性化、森林災害予防の普及啓発  |
| 林業振興課                 | 植樹運動、林業体験等を通じた林業普及            |
| 県有林課                  | 「森林文化の森」の整備と利用促進              |
| 森林総合研究所               | 森林・林業に関する調査・研究<br>森の教室等の実施    |
| 各林務環境事務所              | 地域における環境保全活動の推進               |
| 教育庁                   |                               |
| 義務教育課                 | エネルギー教育推進事業の実施                |
| 社会教育課                 | フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」の実施 |
| その他の部局                |                               |
| 生涯学習文化課               | やまなしまなびネットワークシステムの運営          |
| エネルギー政策課              | 省エネルギー、クリーンエネルギーの普及啓発         |
| 企業局電気課                | クリーンエネルギー学習講座等の実施             |
| 環境科学研究所<br>(富士山科学研究所) | 環境教育事業の実施 指導者の育成等             |

#### 2 環境教育の各種施策

##### (1)富士山科学研究所における環境教室等(私学・科学振興課)

富士山科学研究所の環境教育部門では、環境問題を地球規模で考え、身近なことから実践することの大切さを学習する「環境教室」、「自然体験講座」、「身近な環境調査」、「地域環境観察会」や、「環境写真展」等の企画展示など、幅広い環境教育事業を実施しています。

環境教育事業の概要(平成27年度)

| 事業名     | H27実績  | 備 考                               |
|---------|--|-----------------------------------|
| 環境教室    | 団体を対象として随時開催   |                                   |
| 自然体験講座  | 1回(半日)   | ・体験活動を取り入れながら、身のまわりのものを題材とした内容で開催 |
| 身近な環境調査 | 118校参加(小・中学校)  | ・サクラの開花調査                         |
| 地域環境観察会 | 7回(半日または1日)  | ・地域の身近な自然などの観察会                   |
| 富士山科学講座 | 1回   | ・科学的なデータや知見を取り入れ、わかりやすい内容で開催      |
| 企画展示    | 「企画展～春から初夏～」<br>4/4～6/24<br>「企画展～夏から秋～」<br>7/11～11/8<br>「企画展～冬から初春～」<br>11/28～2/23<br>「ある日の風景写真展」<br>2/27～3/21 |                                   |

(2) ともエコクラブ活動の支援(森林環境総務課)

次代を担う子どもたちが、地域において楽しく自発的に環境学習及び環境保全活動を行う「ともエコクラブ」の活動を支援し、その内容の充実を図っています。

県内の加入状況(平成28年3月31日現在)

・クラブ数...3                      ・会員数...110人 (全国:クラブ数...2,127 会員数...122,129人)

事業内容

・ともエコクラブ全国フェスティバル

県内からは和泉エコクラブ(甲府市)が参加 同フェスティバルに展示する壁新聞を提出。

・ともエコクラブ事業の広報

新規登録を促すため、小中学校へのチラシの配布やホームページに掲載。

(3) 体験の機会の場の認定(森林環境総務課)

平成24年10月に施行された「環境教育等促進法」に基づく「体験の機会の場」として、公益財団法人キープ協会の施設等を平成24年12月に認定しました。全国に先駆けた第1号の認定です。

(4) 学校林の活用推進(みどり自然課)

学校週5日制の実施や総合的な学習の時間の創設に伴い、森林の教育的利用に対するニーズが高まってきている中で、児童・生徒の森林環境教育の場として学校林を活用するために必要な指導助言や情報提供を行っています。また、活動の活発化を図るため平成19年度には「森林環境教育の手引き～学校林活用マニュアル～」を発行しました。

(5) どんぐりクラブ育成事業(みどり自然課)

小学生以下の子ども達に、山や森、公園に落ちているどんぐりを拾う活動を通じて、緑に親しみ、森林を大切にすることを育んでもらうことを目的として実施しています。また、集まったどんぐりは環境教育等への活用を図るため、県緑化園で養成し、希望した小中学校等に配付しています。

平成27年度は199人の子ども達が会員となり、集めたどんぐりの数に応じてウメドキとオオデマリを配付しました。

**(6) エネルギー教育推進事業**(義務教育課)

啓発のための「リーフレット」の作成・配付

県下の小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒及び教職員を対象に、日常生活で自ら実践できる省エネ・省資源活動等を書き込める「リーフレット」を作成・配付し、電気エネルギーをつくり出す方法や新エネルギーについての理解の促進と家庭への啓発を図っています。

エネルギー教育関連教材の貸し出し

エネルギーを実際につくり出す体験等を行うことにより、エネルギー問題等について理解の促進が図れるよう、学校では購入しにくいエネルギー教育関連教材を各教育事務所に備え貸し出しを行っています。

エコ活動推進キャンペーン ～地球のエネルギーについて考えよう～ の実施

11月から1月中旬までをエネルギー教育推進の強化月間とし、県下の全公立小中学校で一斉に省エネ・省資源活動の取組や発電・新エネルギーについての学習活動等を行っています。

ホームページの活用・更新

ホームページ「小中学生のためのやまなしの環境教育」を通じて、各学校の取組の様子や関連事業の紹介、環境教育・エネルギー教育の進め方、エネルギー教育関連教材等について情報発信を行っています。

**(7) 青少年長期自然体験活動(フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」)**(社会教育課)

物質的な豊かさに伴う便利な生活環境の中ではくまれている青少年に、本県にはない海洋における大自然の中で、野外活動生活を長期間実施することにより、青少年に心の豊かさや、たくましさをはぐくむ事業を実施しています。

実施に当たっては、美しい海洋の自然に触れることにより地球環境の大切さを感じ、人と自然との共存について考える機会をつくるとともに、生活環境の異なる地域の人々との交流を進めることにより、人と人との繋がりを考える機会としています。

経 緯 昭和63年度より事業を開始し、平成27年度で28回目を迎えた。

**平成27年度の実施内容**

|                                  |  |               |                    |
|----------------------------------|--|---------------|--------------------|
| 参加者                              | 県内の中学生50名(男子25名、女子25名)                   |               |                    |
| 実施日                              | 事前説明会                                    | 平成27年6月14日    | 日帰り (ことぶき勸学院)      |
|                                  | 事前研修会                                    | 平成27年7月 4日～5日 | 1泊2日 (県立愛宕山少年自然の家) |
|                                  | 現地研修                                     | 平成27年8月 1日～9日 | 8泊9日 (東京都八丈島八丈町垂戸) |
|                                  | 事後研修会                                    | 平成27年8月19日    | 日帰り (県立八ヶ岳少年自然の家)  |
| 体験内容                             | ・洋上体験(船での寝食、漁船クルージング、外洋の観察等)             |               |                    |
|                                  | ・自然体験(キャンプ生活、スノーケリング、野外炊事、サバイバル踏破、ピバーク等) |               |                    |
|                                  | ・交流体験(八丈島の小中学生、住民の方等)                    |               |                    |
|                                  | ・自主企画体験(自らの企画による活動、サバイバル踏破等)             |               |                    |
| ・自然環境体験(全期間での衣食住、天候、海洋及び海洋性の自然等) |  |               |                    |

**(8) やまなしエコティーチャーの派遣**(森林環境総務課)

地域における環境保全意識の高揚を図り、地域の環境保全活動に資するため、環境に関する知識や豊富な経験のある人材を環境学習指導者(やまなしエコティーチャー)として登録し、県内の民間団体等が主催する環境保全に関する研修会等に派遣しました。

## やまなしエコティーチャー登録名簿

(平成27年10月1日現在)

| 自然環境分野 |                        | 氏名    | 役職名                         |
|--------|------------------------|-------|-----------------------------|
| 氏名     | 役職名                    | 草野香寿恵 | 環境省環境カウンセラー                 |
| 跡部治賢   | NPO法人自然とオオムラサキに親しむ会会長  | 河野昭三  | 甲府市役所嘱託職員(平成27年4月～)         |
| 齋藤一紀   | (公財)日本鳥類保護連盟専門委員       | 黒田光秀  | (株)総合リサイクルセンター黒田 代表取締役      |
| 流石皇甫   | 美花里自然教室                | 窪田真弓  | NPO法人富士川・夢・未来事務局            |
| 清藤 城宏  | (公財)オイスカ緑化技術参事         | 小林敏樹  | 都留文科大学文学部社会学科非常勤講師          |
| 関 敦隆   | 子ども自然体験クラブ エヴォルヴ代表     | 齊藤尚子  | 楡形環境とリサイクルの会会長              |
| 竜沢信子   | やまなし環境会議会員             | 櫻田 清  | NPO法人協働で素敵にまちづくり南アルプス共和国理事長 |
| 田中 収   | 大月短期大学名誉教授             | 櫻林いさを | 環境省環境カウンセラー                 |
| 内藤邦雄   | NPO法人みどりの学校副理事長        | 佐藤悦子  | 山梨県地球温暖化防止活動推進員             |
| 中川雄三   | 動物写真家、日本野鳥の会富士山麓支部副支部長 | 澤登早苗  | 恵泉女学園大学教授                   |
| 中込司郎   | 山梨県植物研究会名誉会員           | 志沢美香  | 甲府市地球温暖化防止活動推進員             |
| 中村 司   | 山梨大学名誉教授               | 篠原 充  | (一社)山梨県一般廃棄物協会会長            |
| 野澤健夫   | HOOKかんきょう協育事務所代表       | 島崎洋一  | 山梨大学准教授                     |
| 野澤智博   | NPO法人えがおつなげて勤務         | 清水喜美男 | 環境省環境カウンセラー                 |
| 堀内美千恵  | 自然環境保全の会会長             | 竹井 基  | 山梨県地球温暖化防止活動推進員             |
| 宮本克己   | 環境省環境カウンセラー            | 鶴田和彦  | 環境省環境カウンセラー                 |
| 山田健一郎  | 山梨県地球温暖化防止活動推進員        | 仲澤早苗  | 山梨県消費生活研究会連絡協議会顧問           |
| 山本紘治   | 山梨科学アカデミー会員            | 中村伯男  | 環境省環境カウンセラー                 |
| 依田正直   | 日本野鳥の会甲府支部名誉会長         | 廣瀬隆博  | (有)サンライト代表                  |
| 渡辺尚希   | アウトバック・アドベンチャーツアーズ代表   | 藤巻真史  | (株)田丸 会長                    |
| 生活環境分野 |                        | 宮内厚子  | 山梨県地球温暖化防止活動推進員             |
| 氏名     | 役職名                    | 森野健治  | 山梨県地球温暖化防止活動推進員             |
| 芦澤公子   | NPO法人みどりの学校理事長         | 望月あけみ | NPO法人みどりの学校事務局長             |
| 石井迪男   | 山梨環境カウンセラー協会会長         | 山坂右内  | 山梨科学アカデミー会員                 |
| 岸いづ美   | 光の森こども園主任              | 渡辺節子  | 山梨県地球温暖化防止活動推進員             |

## 平成27年度実績

|    | 月・日   | 主催団体                   | テーマ  | エコティーチャー | 参加人数 |
|----|-------|------------------------|--|----------|------|
| 1  | 4月19日 | 楽しく歩く会                 | 「富士のすそのを歩こう」   | 堀内 美千恵   | 30   |
| 2  | 4月26日 | なかよし会                  | 勝沼を散策する  | 堀内 美千恵   | 30   |
| 3  | 5月10日 | エコ環境練案甲斐               | エコ環境練案甲斐 第二回お茶フェスタ                                       | 山田 健一郎   | 50   |
| 4  | 5月14日 | 須貝整形外科                 | みんなできれいな地球にしよう   | 櫻林 いさを   | 30   |
| 5  | 5月15日 | 須貝整形外科                 | 地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 20   |
| 6  | 5月16日 | 学校法人 青藍幼稚園             | エコあそび教室  | 芦澤 公子    | 36   |
| 7  | 5月21日 | 昭和田社会福祉協議会             | 高齢者ふれあい教室  | 田中 収     | 15   |
| 8  | 6月8日  | 甲斐市立双葉西児童館             | エネルギー  | 島崎 洋一    | 19   |
| 9  | 6月14日 | いきものみつけファームin山梨中央推進協議会 | 親子で田植え体験   | 中川 雄三    | 98   |
| 10 | 6月20日 | 山梨県社会教育の会峡北支部          | 峡北地方の地質環境と地震防災   | 口野 道男    | 17   |
| 11 | 6月23日 | 韮崎市立韮崎北東小学校            | 韮崎市立韮崎北東小学校5年自然環境学習(総合的な学習) 藤井平・藤井せきの自然環境と人々の生活(事前教室学習)  | 口野 道男    | 82   |
| 12 | 6月26日 | 甲府市立大里小学校              | 4年生 環境教室「山梨における地球温暖化の影響について」                             | 櫻林 いさを   | 103  |
| 13 | 6月26日 | 韮崎市立韮崎北東小学校            | 韮崎市立韮崎北東小学校5年自然環境学習(総合的な学習) 藤井平・藤井せきの自然環境と人々の生活(現地野外見学会) | 口野 道男    | 82   |
| 14 | 6月29日 | 社会福祉法人和告福祉会養護老人ホーム和告寮  | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 80   |
| 15 | 7月7日  | 山梨学院大学法学部              | 法学部政治行政学科「環境政策」 民間企業の環境対策                                | 河野 昭三    | 112  |
| 16 | 7月15日 | 清哲町折居公民館               | 「折居活断層」の地質環境と地震防災対策                                      | 口野 道男    | 37   |
| 17 | 7月16日 | 中央市立田富第一保育園            | 田富第一保育園エコ学習会   | 森野 健治    | 65   |
| 18 | 7月21日 | 中央市立田富第二保育園            | 田富第二保育園エコ学習会   | 森野 健治    | 30   |
| 19 | 7月23日 | 中央市立田富第三保育園            | 田富第三保育園エコ学習会   | 森野 健治    | 65   |
| 20 | 7月25日 | 禅道会                    | 子供座禅会中の環境学習「身近な暮らしの中から考える省エネとゴミ減らし」                      | 望月 あけみ   | 36   |
| 21 | 7月27日 | 禅道会                    | 子供座禅会中の環境学習「人と自然・私たちの食と自然との関係について考えてみよう」                 | 澤登 早苗    | 35   |
| 22 | 7月27日 | 中央市立田富北保育園             | 中央市立田富北保育園エコ学習会  | 芦澤 公子    | 60   |
| 23 | 7月29日 | 韮崎市中央公民館               | ～武田の里サマースクール事業～平成27年度韮崎市甘利山リトルキャンプ事業                     | 斎藤 一紀    | 29   |
| 24 | 7月29日 | 大国小放課後児童クラブ ひまわり1      | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 54   |
| 25 | 7月29日 | 中央市立玉穂保育園              | 玉穂保育園エコ学習会   | 森野 健治    | 75   |
| 26 | 7月30日 | 中央市立豊富保育園              | 豊富保育園エコ学習会   | 森野 健治    | 49   |
| 27 | 7月30日 | 中道北放課後児童クラブ            | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 26   |
| 28 | 7月31日 | 舞鶴小放課後児童クラブ            | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 40   |
| 29 | 8月2日  | 薬王寺                    | 夏休み子ども禅の集い   | 青木 のり子   | 30   |
| 30 | 8月3日  | 中道南児童館                 | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 21   |
| 31 | 8月3日  | 甲斐市社会福祉協議会             | 環境学習会  | 山田 健一郎   | 11   |
| 32 | 8月4日  | 千塚小放課後児童クラブ            | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 30   |
| 33 | 8月5日  | 池田小放課後児童クラブ            | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 60   |
| 34 | 8月6日  | 雲龍山 法幢院                | 体験を通じて環境を学ぶ  | 芦澤 公子    | 16   |
| 35 | 8月7日  | 里吉団地放課後児童クラブ           | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 18   |
| 36 | 8月9日  | エコ環境練案甲斐               | みんななかぼちゃの収穫まつり   | 森野 健治    | 81   |
| 37 | 8月10日 | 伊勢小放課後児童クラブ            | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 31   |
| 38 | 8月11日 | 国母小放課後児童クラブ            | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 23   |
| 39 | 8月11日 | 朝日小学校放課後児童クラブ          | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 41   |
| 40 | 8月17日 | 山城小放課後児童クラブ            | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 110  |

|    | 月・日         | 主催団体                   | テーマ  | エコティーチャー | 参加人数  |
|----|-------------|------------------------|--|----------|-------|
| 41 | 8月17日       | 常幸院                    | こども禅の集い「エコや環境について」                                     | 廣瀬 隆博    | 27    |
| 42 | 8月18日       | 相川小放課後児童クラブ            | 山梨の地球温暖化の影響は？  | 櫻林 いさを   | 31    |
| 43 | 8月19日       | 東小放課後児童クラブ             | 山梨県の地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 35    |
| 44 | 8月21日       | 甲運小放課後児童クラブ            | 山梨の地球温暖化の影響は？  | 櫻林 いさを   | 42    |
| 45 | 8月26日       | 新紺屋小放課後児童クラブ           | 環境紙芝居 みんなできれいな地球にしよう                                   | 櫻林 いさを   | 33    |
| 46 | 9月15日       | 学校法人仲澤学園 みかさこども園       | 「ストップ！地球温暖化 こどもたちの未来のために今できること」～地球温暖化防止のための新エネルギーについて～ | 森野 健治    | 53    |
| 47 | 10月18日      | いきものみつけファームin山梨中央推進協議会 | 親子で稲刈り体験   | 中川 雄三    | 75    |
| 48 | 10月20日      | 都留市立禾生第一小学校            | 愛 can do it.   | 島崎 洋一    | 41    |
| 49 | 10月21日      | 甲府市立甲運小学校              | 地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 67    |
| 50 | 10月21日      | 甲府市立中道南小学校             | 地球温暖化で私たちにできること  | 櫻林 いさを   | 21    |
| 51 | 10月22日      | 甲府市立善誘館小学校             | 温暖化について  | 櫻林 いさを   | 27    |
| 52 | 10月23日      | 光の森こども園                | 「地球温暖化で何がおこっているかなぼう」                                   | 草野 香寿恵   | 59    |
| 53 | 10月28日      | 山梨県立甲府城西高校             | 山梨の美しい自然と渡り鳥の不思議                                       | 中村 司     | 288   |
| 54 | 11月9日       | 山梨県立笛吹高等学校             | 1学年 総合学科 環境に関する講演会                                     | 芦澤 公子    | 87    |
| 55 | 11月14日      | 北社市立長坂保育園 日野春分園        | 親子で学ぶ3R  | 草野 香寿恵   | 70    |
| 56 | 11月17日      | 中央市立玉穂南小学校             | 発電体験とエコクイズ   | 島崎 洋一    | 31    |
| 57 | 11月17日      | 中央市立玉穂南小学校             | 発電体験とエコクイズ   | 島崎 洋一    | 31    |
| 58 | 11月24日      | 光の森こども園                | 「地球にやさしくらしを学ぼう」  | 石井迪男     | 60    |
| 59 | 11月26日      | 社会福祉法人和告福祉会養護老人ホーム和告寮  | 皆ができるエコ活動  | 櫻林 いさを   | 60    |
| 60 | 12月28日      | 里吉団地放課後児童クラブ           | 地球温暖化から学んだこと   | 櫻林 いさを   | 12    |
| 61 | 12月28日      | 伊勢小放課後児童クラブ            | 地球温暖化から学んだこと   | 櫻林 いさを   | 23    |
| 62 | 1月9日        | NPO法人甲府駅 北口まちづくり委員会    | 地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 422   |
| 63 | 1月9日        | NPO法人甲府駅 北口まちづくり委員会    | 地球温暖化の影響は？   | 櫻林 いさを   | 422   |
| 64 | 2月8日        | 中道南小放課後児童クラブ           | 地球温暖化から学んだこと   | 櫻林 いさを   | 15    |
| 65 | 2月10日       | 舞鶴小放課後児童クラブ            | 地球温暖化から学んだこと   | 櫻林 いさを   | 21    |
| 66 | 2月18日       | 北社市立長坂小学校              | 「地球の自然を守る(考える)～水・森林について～」                              | 草野 香寿恵   | 53    |
| 67 | 3月23日       | 朝日小学校放課後児童クラブ          | 地球温暖化から学んだこと   | 櫻林 いさを   | 24    |
| 67 | うち新規派遣先数 20 |                        |  | 総数       | 4,007 |

### (9)やまなし環境学習プログラムの策定(森林環境総務課)

地球温暖化対策を推進していくため、平成23年3月に太陽光発電等自然エネルギーの分野に関し、小学校中学年用・小学校高学年用・中学校用の3件のプログラムを策定しました。子どもたちがそれぞれの発達段階において、体験的活動を中心にそこから得られる自然環境や社会問題について「学び」「話し合い」「行動に移す」ことを効果的に行うことができるよう構成されている実践的な指導用手引書です。

| 対象     | プログラム         | 内容                                |
|--------|---------------|-----------------------------------|
| 小学校中学年 | 「やまなしのエコ大作戦」  | 体験やクイズを通じ、エネルギーについて知り、エコライフ宣言をする。 |
| 小学校高学年 | 「二酸化炭素ゼロやまなし」 | 山梨県の温暖化対策の目標を知り、身近なエコの方法を川柳で表現する。 |
| 中学校    | 「ソーラー王国やまなし」  | 山梨県のエネルギー計画を知り、未来のエネルギーの使い方を考える。  |

## 5 - 2 人材の育成

## 1 富士山科学研究所の取り組み(私学・科学振興課)

山梨県富士山科学研究所では、環境問題や環境教育への理解をより一層深めることを目的に、また、将来的には地域の環境活動を推進しうる人材を養成する第一歩となるよう、環境生涯学習プラン「富士山科学カレッジ」及び「富士山科学カレッジ大学院」を開講しています。平成27年度の実績は次のとおりです。

富士山科学カレッジ(受講生:40名)

| 種別    | 内容  | 講師  | 実施日   |
|-------|---|---|---|
| 開講式   | 開講式・カレッジプログラムの確認  | 環境教育スタッフ  | 5/9   |
| 必修講座  | 1) 基礎講座「富士山の自然」   | 環境教育スタッフ  | 5/9   |
|       | 2) 富士山科学講座<br>「世界遺産としての富士山の保全を考える」                            | 吉田正人(筑波大学大学院 教授)<br>山本清龍(岩手大学 准教授)<br>小石川浩(当研究所 主幹) | 5/23  |
|       | 3) 専門講座1(火山系)<br>「富士山は活火山」                                    | 内山 高(当研究所 主幹研究員)                                    | 7/11  |
|       | 4) 専門講座2<br>「富士山の植物の特徴を知る」                                    | 中野 隆志(当研究所 主幹研究員)                                   | 9/19  |
|       | 5) 専門講座3<br>「富士山に生息する動物の特徴を知る」                                | 北原正彦(当研究所 特別研究員)                                    | 11/21   |
|       | 6) 富士北麓自然観察会  | 渡辺信介、中川雄三、水越文孝(日本野鳥の会富士山麓支部)                        | 10/17   |
| 選択講座A | 3講座中2講座以上の受講<br>1) 企画展～春から初夏～<br>2) 企画展～夏から秋～<br>3) 森のガイドウォーク |   | 4/4～6/24<br>7/11～11/8<br>4/25～5/6、<br>7/18～9/23 |
| 修了式   | 修了証書授与  |   | 11/21   |

富士山科学カレッジ大学院(受講生:17名)

| 種別   | 内容  | 講師  | 実施日      |
|------|---|---|----------|
| 開講式  | 開講式・大学院プログラムの確認                                   | 環境教育スタッフ  | 5/9      |
| 基礎講座 | 富士山の環境保全に向けて何をすべきか                                | 濱 泰一(東京大学 大学院)                                      | 5/9      |
| 必修講座 | 2) 富士山科学講座<br>「世界遺産としての富士山の保全を考える」                | 吉田正人(筑波大学大学院 教授)<br>山本清龍(岩手大学 准教授)<br>小石川浩(当研究所 主幹) | 5/23     |
| 専門講座 | 1) 火山系<br>人の暮らしと災害～噴火災害について～                      | 内山 高(当研究所 主幹研究員)                                    | 7/4      |
|      | 1) 火山系<br>人の暮らしと災害～富士山の雪代災害と復興～                   | 篠原 武(ふじさんミュージアム学芸員)                                 | 7/4      |
|      | 2) 共生系<br>富士山の恵みとしての水その特徴について学ぶ                   | 長谷川達也(当研究所 研究管理幹)                                   | 8/8      |
|      | 3) 自然系<br>人との関わりの中で起こってきた問題について<br>～アレチウリの事例を通して～ | 安田泰輔(当研究所 研究員)                                      | 10/10    |
|      | 3) 自然系<br>人との関わりの中で起こってきた問題について<br>～不法投棄の実例について～  | 上原正孝(富士山レンジャー)                                      | 10/10    |
|      | 4) 共生系<br>保全と継承                                   | 池口 仁(当研究所 研究員)                                      | 11/14    |
|      | 2) 共生系<br>フィールド科学としての社会調査から見た富士山の<br>利用形態         | 菊池佐智子(当研究所 研究員)                                     | 11/14    |
| 臨地講座 | 1) 共生系<br>富士山の歴史・文化・信仰について知る                      | 小笠原輝(当研究所 研究員)                                      | 6/13     |
|      | 2) 自然系<br>自然環境の調査手法                               | 中野隆志(当研究所 主幹研究員)                                    | 9/5      |
| 選択講座 | A) スキルアップセミナー                                     | 火山系、植物系、動物系から1つずつ選択                                 | 12月～3月   |
|      | B) 富士山研まつり または 研究成果発表会                            | どちらかを選択する   | 8/2、1/17 |
| 修了式  | 修了証書授与  |   | 3/12     |



## 2 森林総合研究所における研修(森林環境総務課)

林業従事者や後継者、また将来の担い手となる者を対象に技術研修を行い、地域林業や森林・林業教育の中核的指導者となるよう人材養成を行っています。平成27年度の実績は次のとおりです。

### (1) 専門研修(対象: 県、市町村及び森林組合職員 ほか)

| 研修教科       | { 研修名 } 及び内容                            | 実施日               | 受講者数 |
|------------|---|-------------------|------|
| 森林計画       | 森林GISの効率的な活用に必要な基礎知識                    | H27.5.20          | 22   |
| "          | 市町村森林整備計画の策定に必要な基礎知識                    | H27.7.22          | 28   |
| 作業路網       | 林内路網の基礎知識                               | H27.7.30          | 20   |
| "          | 森林作業道の計画・施工                             | H27.8.5           | 18   |
| "          | 森林作業道作設オペレーター育成初級研修                     | H27.9.8           | 4    |
| 森林土木       | 保安林・林地開発制度の概要                           | H27.6.18          | 74   |
| "          | 森林土木測量入門                                | H27.6.22          | 21   |
| "          | 法面緑化基礎研修                                | H27.10.8          | 10   |
| "          | 公共土木施設点検のポイント                           | H27.11.24         | 19   |
| 森林環境教育     | 森林環境教育～安全な伐木・かかり木処理の指導方法～               | H27.12.8          | 3    |
| 普及指導       | 森林施業プランナー研修                             | H27.6.2           | 16   |
| 労働安全       | 林業労働災害防止研修(FSC関連研修)                     | H27.9.24          | 67   |
| "          | 林業事業体における安全作業に関する研修                     | H27.9.30          | 39   |
| "          | 技術職員の安全管理(現場で被災しないために)                  | H27.8.27          | 26   |
| 育林・育種・森林整備 | 森林施業技術の基礎知識                             | H27.6.26          | 35   |
| 森林保護       | 県有林の適切な森林管理において求められるもの(FSC関連研修)         | H27.3.9           | 82   |
| "          | 森林病虫獣害研修                                | H28.1.29          | 32   |
| 環境保全       | 森林の多面的機能の基礎知識                           | H27.10.1          | 12   |
| 特用林産       | 特用林産の基礎知識ときのご短木栽培実習                     | H27.3.22          | 2    |
| 木材加工・流通    | 木材の用途と品質                                | H27.11.10         | 13   |
| "          | バイオマスの利活用 2016版                         | H28.3.18          | 15   |
| 経営・機械      | 林業架線免許講習                                | H27.6.9-7.16      | 7    |
| "          | 「架線系集材技術の基礎」(機械集材装置の運転に係る特別教育)          | H27.7.2/7.3       | 4    |
| "          | 「林業安全作業指導」(チェーンソー&刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育) | H27.5.12-5.14     | 18   |
| "          | 「林業安全作業指導」(チェーンソー&刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育) | H27.12.9-12.11    | 11   |
| "          | 「林業安全作業指導」(チェーンソー&刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育) | H28.2.9/2.16/2.17 | 17   |
| その他        | カーボン・オフセット研修                            | H27.9.30          | 36   |
| 計          |   |                   | 651  |

### (2) 基礎研修【新規参入支援研修】(対象: 林業への参入・就業希望者)

| 研修教科 | 内 容                             | 実施日      | 受講者数 |
|------|---------------------------------|----------|------|
| 講 義  | 山梨県の森林・林業の概要、林業という仕事(参入・就業に向けて) | H27.7.22 | 6    |
|      | きのご等生産・販売の実情と可能性                |          |      |
|      | 特用林産物としての薬草栽培の実情(現地説明)          |          |      |
| 計    |                                 |          | 6    |

### (3) 技能者養成研修(対象: 林業従事者)

| 内 容  | 実施日                       | 受講者数 |
|--|---------------------------|------|
| 「機械集材装置の運転の業務に係る特別教育」(2年目)                         | H27.6.30/H27.7.1          | 13   |
| GPS測量の方法(2年目)                                      | H27.7.2                   | 13   |
| 刈払機のメンテナンス<br>チェーンソーのメンテナンス(2年目)                   | H27.7.28                  | 13   |
| 木材流通と木材利用<br>木材の特性<br>安全な素材生産作業の確認                 | H27.8.25/8.26             | 9    |
| 安全なかかり木等処理作業                                       | H27.9.1/9.2               | 9    |
| 森林施業の体系<br>森林整備の省力化・低コスト化作業                        | H27.9.3/11.4              | 9    |
| 路網の種類と目的<br>安全な路網開設・維持作業                           | H27.9.15-17/H27.9.28-29   | 9    |
| 効率的な高性能林業機械の使い方<br>高性能林業機械操作の検証                    | H27.10.20-22/H27.10.27-29 | 9    |
| 車両系高性能林業機械のメンテナンス<br>架線系高性能林業機械のメンテナンス<br>機械類の管理手法 | H27.11.4-11.6             | 9    |
| 道具・資材のメンテナンス(2年目)                                  | H27.11.10                 | 13   |
|  |                           | 106  |

### (4) 教員指導者養成研修(対象: 教職員)

| 研修名          | 内 容                                      | 実施日      | 受講者数 |
|--------------|--|----------|------|
| 身近な自然の指導法研究会 | 「植物と親しむ(押し葉標本作り)」                        | H27.7.23 | 21   |
|              | 「森林・林業の基礎知識」                             |          |      |
|              | 「森林と人との関わり方」                             |          |      |
| 環境とものづくり研究会  | 「森林・林業・木材の基礎知識」                          | H27.7.24 | 19   |
|              | 「木工作入門」                                  |          |      |
|              | ・木材の性質について                               |          |      |
|              | ・木工作道具の使用方法<br>・製作技法の基礎知識<br>・木工作授業の計画方法 |          |      |
| 計            |  |          | 40   |



### 5 - 3 環境に関する活動の展開

#### 1 参加と連携による環境活動(森林環境総務課)

環境の保全と創造を図るためには、私たち一人ひとりが人間と環境との関わりについての理解と認識を深めるとともに、県民・事業者・民間団体・行政等がそれぞれの主体の特性を活かし、互いに補完しながら、連携して取り組む必要があります。

県では、「やまなし環境月間」や「環境フォーラムinやまなし」の開催などを通じて、県民の環境保全への意識の高揚を図っているほか、環境保全実践活動の展開を支援・促進するため、「環境保全活動支援事業費補助金」(平成19年度～)により、市町村(一部事務組合も含む)や民間団体が地域住民と一体となって実施する先駆的・モデル的など環境保全事業に対して補助を行うとともに、地域の民間団体等が開催する環境問題に関する講演会や学習会等に対して講師を派遣する「環境学習指導者派遣事業(やまなしエコティーチャー)」「(平成21年度～、平成7年度から平成20年度までは「環境アドバイザー派遣事業」)を実施し、地域の環境保全活動を支援しています。さらに、これらの活動が日常生活の中に定着していくことを目的として、環境美化活動に取り組む一斉活動日を設け、やまなしクリーンキャンペーン(平成8年度～)を提唱、実施しています。

#### (1)平成27年度環境保全活動支援事業費補助金(森林環境総務課)

| 交付先<br>市町村名 | 事業内容               |
|-------------|--------------------|
| 甲府市         | ・太陽エネルギー体験教室       |
|             | ・キッズISO14000プログラム  |
|             | ・保育所・幼稚園における環境教育事業 |
|             | ・環境教育プログラムの実施      |
|             | ・環境教育副読本の作成        |
| 韮崎市         | ・環境講座の開催           |
|             | ・リサイクル探検隊の開催       |
|             | ・キッズISO14000プログラム  |
|             | ・緑のカーテン設置事業        |
|             | ・生ごみの水切り普及啓発       |

| 交付先<br>市町村名 | 事業内容                     |
|-------------|--------------------------|
| 南アルプス市      | ・リサイクルステーション(リサイクルラック)整備 |
| 甲斐市         | ・剪定枝粉碎機の整備               |
| 山梨市         | ・キッズISO14000プログラム        |
|             | ・エコキッズ養成塾                |
|             | ・ごみ減量啓発缶バッジ作成            |
| 笛吹市         | ・緑のカーテンの実施               |
| 身延町         | ・「緑のカーテン」を利用した環境学習会等の開催  |
| 大月市         | ・地域美化活動の推進               |

#### (2)やまなしクリーンキャンペーン(森林環境総務課)

県では平成8年度から、子供から高齢者まで県民参加による環境美化のための一斉活動日を提唱し、私たちが日頃から慣れ親しみ愛着のある身近な環境での全県一斉クリーンキャンペーンを展開しています。

平成27年度は、一斉活動を年6回実施しました(5月30日、7月30日、9月30日、11月30日、1月30日、3月30日)。

#### (3)やまなし環境月間(5月30日～6月30日)における取り組み(森林環境総務課)

環境基本法においても定められた「環境の日(6月5日)」を中心として、環境美化の日(5月30日、ゴミゼロの日)から6月末までを「やまなし環境月間」とし、環境保全に向けた各種行事を実施しています。

平成27年度環境月間行事

| 行事名                | 概要  | 主催      |
|--------------------|---|---------|
| やまなしクリーンキャンペーン     | 子供から高齢者まで県民が参加して、日頃から慣れ親しんでいる身近な場所の環境美化に取り組む一斉活動を行った。   | 山梨県、市町村 |
| ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン | 県内主要地域において啓発物品を配布し、ごみの減量とリサイクルの推進を呼びかけた。  | 山梨県、市町村 |
| 環境フォーラム in やまなし    | やまなし環境月間の中心行事として実施。環境問題を楽しく学ぶため、阿部清人氏を招き「エコサイエンスショー」による記念講演を行った。また、山梨県環境保全功績者表彰として、環境保全に関する県民等の意識の啓発、高揚を図るため、地域の環境保全に顕著な功績のあった者を知事表彰した。 | 山梨県     |
| 環境情報コーナー           | 一般県民が多く利用する公共施設等において、環境に関する資料・パネル等を展示し、環境問題への意識啓発を図った。  | 山梨県     |
| 環境保全のための新聞広告掲載     | 環境保全の意識啓発を図るため、新聞広告を掲載した。   | 山梨県     |
| 新聞・広報誌等による広報       | 新聞・広報誌等により、環境保全・美化運動への参加を呼びかけた。   | 山梨県     |

(4)「やまなし森づくりコミッション」の支援(みどり自然課)

企業や団体、県民参加の森づくりを推進するため、こうした森づくりの活動をサポートする組織として、平成19年8月に県と森林・林業、環境関係の25団体により設立された、「やまなし森づくりコミッション」への支援を行いました。(コミッション事務局は、(公財)山梨県緑化推進機構)

森づくり活動の支援

・企業・団体の森づくりの推進: 森林整備協定の締結、森づくり活動への参加に関する相談、活動資材の提供、森づくりに関する講師の派遣、森づくりイベントの紹介、森づくり活動の企画・立案への協力ほか

「エコプロダクツ2015」への出展

・期間: 平成27年12月10日～12日

・場所: 東京都江東区・東京ビッグサイト

コミッションと企業の森づくり活動等の紹介

ホームページURL:

<http://www.y-forest-commission.jp/>

「山梨県庁のホームページ」 「組織から探す」 「森林環境部」

「みどり自然課」 「やまなし森づくりコミッション」



(5)CO<sub>2</sub>吸収認証制度(みどり自然課)

地球温暖化防止や水資源の涵養<sup>かん</sup>など、森林の多面的な役割に対する県民の関心や、企業・団体の社会貢献活動としての森づくり活動に対する関心が高まっています。県では、企業・団体の森づくりへの参加促進と、より多くの県民が森づくり活動の効果に関心を持つ契機とするため、県内で森づくり活動を行う企業、団体の森づくり活動によるCO<sub>2</sub>吸収量を認証する「やまなしの森づくり・CO<sub>2</sub>吸収認証制度」を推進しています(平成27年度CO<sub>2</sub>吸収認証: 14件、165.9t-CO<sub>2</sub>/年)。

t-CO<sub>2</sub>(二酸化炭素トン) : 二酸化炭素の重さで、1t分の二酸化炭素(t-CO<sub>2</sub>)は、体積にすると546m<sup>3</sup>、25mプール1杯分に相当。

**(6) やまなし土木施設環境ボランティアの推進** (道路管理課・治水課・都市計画課)

やまなし土木施設環境ボランティア推進事業は、自治会、老人クラブ、商店会、住民の有志等地域住民団体並びに企業、学校等及びその従業員、児童生徒等の団体の代表者が、公共施設を所管する建設事務所長に環境ボランティア届けを提出、県及び市町村との三者で合意書を取り交わし、県が管理している道路、河川、公園施設の清掃、除雪、除草、草花の植栽等の美化活動をする制度です。

県では、この事業を支援するため、美化活動に必要なカンナ、鍬、ゴミ袋等の清掃用具、安全確保のための簡易バリケード等を支給するほか、活動中の事故に備えてボランティア保険に加入します。平成15年9月より募集を開始し、平成15年度末で16団体であった合意団体は、平成27年度末で91団体となっており、土木施設の維持管理及び地域の環境に対する住民意識の高揚を図り、快適なまちづくりを推進しています。

**(7) 山梨県環境保全基金** (森林環境総務課)

県民、事業者等に対する環境の保全に関する知識の普及、実践活動の支援、地域に根ざした環境保全活動を推進することにより、県土の環境の保全を図るため、平成2年3月27日に「山梨県環境保全基金条例(以下「基金条例」という。 )を公布・施行し、基金条例に基づく山梨県環境保全基金(以下「基金」という。 )を設置しました。

**基金の額**

平成元年度に国の地域環境保全対策費補助金及び地方交付税交付金による財源措置を各2億円受け4億円とし、平成3年度には県が4億円を増額、平成28年度末現在約8億1千万円となっています。

**基金運用益の処理**

基金の運用から生ずる収益は、毎年度の歳入歳出予算に計上し、基金の設置の目的を達成するために必要な経費の財源に充て、平成27年度は運用益約685万円を活用し、次の事業を実施しました。

- ア やまなし環境月間  
環境月間及び環境の日の新聞広告掲出及び環境フォーラムの実施等
- イ 環境保全活動支援事業費補助金  
市町村等が実施する環境の保全と創造に関する事業に対する補助

**5 - 4 協働取組の促進****1 県民・事業者・行政のパートナーシップの構築****(1) 環境パートナーシップやまなし** (森林環境総務課)**目的・概要**

環境保全のための活動は、個人から各種団体まで規模や活動内容が多様化しており、団体間の連携や情報交換の場づくりが求められています。そこで、県民・事業者・行政のパートナーシップ(協働)のもと、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的とし、平成9年6月5日、環境パートナーシップやまなし(会長:坂本 政彦 (一社)山梨県トラック協会会長)が設立されました。

## 事業内容

活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

・広報誌の発行(年4回)

3R推進・温暖化対策のための事業

・「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2015」の実施

・「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」の開催

・県民の日記念行事への出展

県事業との協働

・やまなしクリーンキャンペーンの共催など

## (2) 山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会(森林環境総務課)

### 目的・概要

レジ袋を削減するための方策やレジ袋削減についての意識啓発等を行うため、事業者、消費者団体、行政等を構成メンバーとして、平成19年8月31日に山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会(会長:金子栄廣 山梨大学教授)が設立されました。

### 事業内容

平成20年度から、レジ袋の無料配布を中止することにより、レジ袋を削減する運動を実施しています。

この運動を推進するため、事業者、消費者団体、商工団体、山梨県及び市町村と「山梨県におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を締結しています。

この協定に基づき、県内の主なスーパーマーケットやクリーニング店等でレジ袋の無料配布を中止しています。

・マイバッグ持参率とレジ袋の削減効果(平成20年7月～平成28年3月)

|          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| マイバッグ持参率 | 86.6%    | レジ袋削減重量  | 7,180トン  |
| レジ袋辞退者   | 44,456万人 | 原油削減量    | 14,312トン |
| レジ袋辞退枚数  | 61,811万枚 | 二酸化炭素削減量 | 33,302トン |

・平成20年6月10日 第1回協定締結 18事業者107店舗

|             |                                 |               |
|-------------|---------------------------------|---------------|
| 株式会社アマノ     | 生活協同組合バルシステム山梨                  | 株式会社深澤商事      |
| 株式会社いちやまマート | 巨摩野農業協同組合                       | 株式会社富士急百貨店    |
| 株式会社イトーヨーカ堂 | 株式会社さえき                         | マックスバリュ東海株式会社 |
| 株式会社オギノ     | 生活協同組合ユーコープ<br>(生活協同組合市民生協やまなし) | 株式会社山交百貨店     |
| 株式会社かわすみ    | 株式会社セルバ                         | 株式会社やまと       |
| 株式会社公正屋     | 株式会社日向                          | ユニー株式会社       |

・平成20年11月6日 第2回協定締結 8事業者10店舗

|              |                     |               |
|--------------|---------------------|---------------|
| 株式会社グルメシティ関東 | 株式会社トライアルカンパニー      | 山梨県立大学生生活協同組合 |
| 有限会社スーパーかわぐち | 株式会社ひまわり市場          | 山梨大学生生活協同組合   |
| 株式会社ダイエー     | 企業組合ワーカーズコレクティブパクぱく |               |

・平成21年5月26日 第3回協定締結 11事業者1組合347店舗

|              |               |                   |
|--------------|---------------|-------------------|
| 株式会社マルシンストアー | 有限会社サンクリーニング  | 株式会社クリーニングすわん     |
| 双葉農の駅企業組合    | 株式会社オスカー      | 株式会社ホワイト急便山梨      |
| 梨北農業協同組合     | 有限会社鈴屋リネンサプライ | 山梨県クリーニング生活衛生同業組合 |
| ふじかわ農業協同組合   | 株式会社クリーニング志村  | 株式会社ヨンマルサン        |

・平成22年9月1日 第4回協定締結 1事業者1店舗

株式会社ベシヤ

・平成23年2月27日 第5回協定締結 1事業者1店舗

イオンリテール株式会社

・平成23年6月7日 第6回協定締結 2事業者2店舗

株式会社白根

株式会社有機村

・平成28年2月12日 第7回協定締結 1事業者1店舗

株式会社パローホールディングス

企業組合ワーカーズコレクティブバクばくは、平成22年7月で対象店舗閉店。

株式会社グルメシティ関東は平成24年5月、株式会社マルシンストアーは平成24年9月、株式会社日向は平成25年1月で対象店舗閉店。

株式会社トライアルカンパニーは平成25年6月で協定から脱退、株式会社富士急百貨店は平成25年12月で対象店舗閉店。

株式会社ヨンマルサンは平成27年6月で協定から脱退。

### (3) 環境に関する企業連絡協議会 (森林環境総務課)

「企業の抱える環境問題」を解決するため、県内の企業159社(平成27年4月現在)で構成している環境に関する企業連絡協議会(平成27年度会長:武田 信彦 (株)テンヨ武田 代表取締役社長)では、次の活動を行っています。

- ・環境に関する啓発活動の実施、各種取り組みへの参加
- ・各種環境研修会の開催
- ・環境美化活動の実施
- ・他の環境団体との連携

## 2 民間団体の環境保全活動への支援(森林環境総務課)

### (1) 公益財団法人やまなし環境財団

「やまなし環境財団」は、山梨県が民間の篤志家からの寄付をもとに、環境保全に向けた県民の意識の醸成を図るとともに、民間団体の自発的な環境保全への取り組みを支援することを目的に設立したものです。

#### 財団の概要

- ・設立年月日 平成9年11月20日
- ・基本財産 4億8,241万4,237円(平成28年3月31日現在)
- ・所在地 甲府市丸の内1-6-1(森林環境総務課内)
- ・理事長 一瀬 文昭 (森林環境部長)

#### 財団の事業内容(平成10年度から実施)

##### ア 環境保全活動支援助成事業

県内で環境保全活動をしている民間団体等が行う実践活動、普及啓発活動、調査・研究活動などに助成する。

##### (助成内容)

スタートアップ助成:新たに開始又は開始後3年未満の団体の活動(助成率10/10以内で20万円を限度)

ステップアップ助成:環境保全活動を開始後3年以上行っている団体等の活動に対して助成

・助成率1/2以内で50万円を限度(助成期間10年間を限度)

・助成率1/2以内で15万円を限度(助成期間11年目から3年間を限度)

実績:平成27年度:スタートアップ助成8団体、ステップアップ助成20団体 4,118,000円を助成

#### イ 「若宮賞」表彰事業

優れた環境保全活動を行っている個人、団体を表彰(本財団の設立に御協力いただいた方の名前を記念し「若宮賞」としている)。

表彰対象: 概ね2~3年以上継続して行っている環境保全に関する実践活動で、清掃美化、ごみ減量化・リサイクル、大気・水質浄化、環境教育等に関する活動を対象。(平成27年度 2団体表彰)

#### ウ やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムの開催

環境保全活動に取り組む民間団体等に交流の場を提供し、環境パートナーシップやまなしとの共催で、参加者の相互理解とネットワークの形成を目的に開催。

実績:平成27年度 平成28年1月30日 ぴゅあ総合(男女共同参画推進センター)で開催

#### エ 情報提供事業

財団の事業や活動団体の紹介、県や活動団体等から寄せられた情報等を掲載するホームページを作成し情報発信するとともに、メールによる情報提供を行う。

#### オ 温暖化防止対策支援事業

山梨県地球温暖化防止活動推進センターに事業を委託し、実効性の高い効果的な地球温暖化防止対策の普及啓発や環境教育を実施する(委託事業内容:温暖化防止の相談窓口設置業務、温暖化防止教室開催業務、地域特性活用業務(通信誌発行、温暖化防止活動研修会開催、温暖化防止活動事例研究会開催)。

### 3 桂川・相模川流域環境の保全(森林環境総務課、富士・東部林務環境事務所)

相模川は、その源流を山中湖に発し、山梨県内では桂川と呼ばれ、神奈川県に入ってから相模川と名前を変え、相模ダム(相模湖)、城山ダム(津久井湖)を経て、平塚市で相模湾に注ぐ全長113kmの一級河川です。両県の県民に過去から現在まで多くの恵みを与え続けている桂川・相模川の流域環境を、将来の世代にかけがえのない資産として引き継いでいくため、上流部の山梨県と下流部の神奈川県が流域に与えている環境負荷や、その改善のために果たすべき役割を認識したうえで、県域を越えて、流域の市町村、住民、企業等と一体となって、流域環境の保全に取り組むことを目的に、平成7年9月から両県の共同事業として「桂川・相模川流域環境保全推進事業」を開始しました。

この事業では、平成9年度までの3か年に、問題提起と合意形成を図るための流域シンポジウムや流域サミットを開催するとともに、流域の住民や市民団体・事業者・市町村等と一体となったクリーンキャンペーン、住民参加型環境調査、パートナーシップ交流等を実施し、併せて流域の全体像を把握するための流域環境基礎調査や流域環境の保全に関する住民意識調査を実施しました。

これらの事業成果を踏まえ、事業の最終年度となる平成9年度には、流域全体の環境保全のための推進母体として、流域の市町村や市民団体、企業等で構成する流域協議会を設置(平成10年1月20日)し、平成10年1月31日行動計画となる「アジェンダ21桂川・相模川」を策定しました。平成10年度からは、この流域協議会として活動を進めています。平成27年度の主な事業の実施状況は次のとおりです。

#### (1)クリーンキャンペーンの実施

流域で行われるクリーンキャンペーンの情報を集め、広く県民等に周知することにより環境保全活動

への参加を促すとともに、簡易水質検査や水生生物調査等を行い、水質保全をはじめとする流域環境保全の重要性について啓発を行った。

- ・実施箇所 山中湖から相模川河口までの33か所
- ・参加人数 40,659人
- ・実施内容 ごみ清掃、簡易水質調査、水生生物調査等

## (2)流域シンポジウムの開催

「桂川から相模川へ 清く豊かに川は流れる～森は海の恋人～」をテーマに、山梨県大月市において開催。第1部では、畠山重篤氏による講演が行われ、「森を守ることが豊かな恵みをもたらす海を守る」という理念に基づく活動の実践事例や課題等について説明がされた。第2部では、3つの分科会に分かれて、各団体から活動内容の報告等が行われた。

- ・開催日 平成27年12月6日
- ・開催場所 大月市民会館
- ・参加者 約200人
- ・内容 (基調講演)NPO法人 森は海の恋人理事長 畠山重篤氏  
(分科会)第1分科会 「次世代につなぐ若者たちの活動」  
～流域での実践活動と今後の連携～  
第2分科会 「つなげよう、支えよう」  
～私たちの税金の使い方を知ろう～  
第3分科会 「流域での交流・ふれあい」  
～事例から新たな活動～  
豊かな自然環境を育てていくために私たちができること

## (3)環境調査事業の実施

### ア 身近な水環境の一斉調査

第12回「身近な水環境の全国一斉調査」に参加した。一斉調査日である6月7日を中心に、流域内外の143地点で調査を実施し、結果をとりまとめた。

### イ 地下水・湧水調査

相模川流域(神奈川県)の湧水地点の現状等について調査を実施した。